

農地を守る

農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で行われています。最終回の今回は、員弁町の「北金井の農村環境を守る会」の活動を紹介します。(平成20年度 市内:52組織活動中)

北金井の農村環境を守る会(北金井地区)

水路の勉強会

8月下旬に、小学校5・6年生と子ども会地区役員、青少年育成会役員21人が参加して、員弁川第一頭首工と関係用水の現場へ行き、施設見学と土地改良区についての勉強をしました。取水状況や受益の範囲などを教えてもらい、その中に自分たちの地区も含まれていること、作られているお米の種類などを勉強しました。地元に関係する農村環境を次世代の子どもたちに知ってもらうために計画したことで、子どもたちも一生懸命に話を聞いていました。



環境美化活動

6月中旬に農地を含めた地区内を、老人会、子ども会それぞれが空き缶やごみ拾いをして環境美化活動を行いました。老人会は5月と9月にも清掃活動をしています。

また、ヒマワリやコスモスも水路沿いで育てていて、地域全体で環境に関心を持ち、きれいな地区を保つよう活動しています。



このほか、農家組合は地区内の農業用施設の点検と、草刈りや土砂上げなどの管理を行い、水路の破損箇所の修理や補修を進めています。

今後も地域みんなで美化活動や施設の維持管理を行い、地区内の田や環境に関心を持ってもらえるような活発な活動をして、地区内を良くしていきたいと思えます。

問 藤原庁舎 農村整備課 T 46-6304 F 46-6319

編集後記

P4-5で「多発する自転車盗難」の記事で「3つの愛錠(あいじょう)忘れずに!」というキャッチフレーズがありました。みなさん、うまいなあ...と思いませんか? 私たち広報担当が広報する上で一番力を注ぐのが記事の「タイトルやキャッチフレーズ」です。雑誌や新聞でも例えば「必殺! 究極のダイエット...」「これを読むだけで...」「必ず儲かる!...」とくれば、見たい!となるのは、私だけではないと思います。みなさんも、作文や広告的なものを書くときにも、この「タイトルやキャッチフレーズ」をインパクトのあるものにすることで、読む人の心を動かすことができるかもしれません。少しの工夫であなたの作品が素敵なるかも...

いなべいきいきマイタウン

2008 地球にやさしい作文・活動報告コンテスト

(読売新聞社主催、文部科学省、環境省など後援)

奨励賞受賞 鈴木 昌宣くん(受賞時:員弁中学3年生、現在高校1年生)

環境保全のためのアイデアや実践例を募ったコンテストの奨励賞に鈴木くんが選ばれました。「エコへのきっかけ」と題して、員弁中学校在籍中、「緑のカーテン」の実験結果から日常の改善点を発



ゴーヤやキュウリのつるで教室を覆う「緑のカーテン」で実験中の鈴木くん

見するというもので、エネルギーの無駄を省くなど一人ひとりが生活スタイルを改めることが大切だということを学び、それを作文などにまとめたそうです。

鈴木くん、これからも環境にやさしい研究を続けていってくださいね。

おめでとうございます。

情報提供: 広報秘書課



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821

編集/企画部 広報秘書課 http://www.city.inabe.mie.jp/

平成21年5月1日発行 Vol.66